

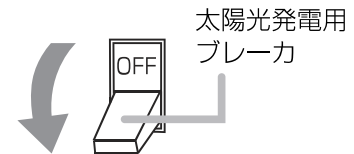
連系運転と自立運転について（つづき）

停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に「e0」が表示されます。「e0」表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。
- 停電時に備えて、日頃から自立運転を確認してください。

1 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オフ」にする



2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。

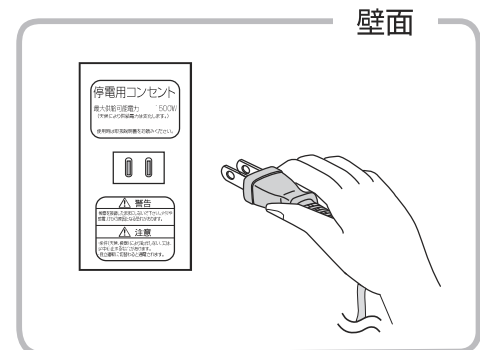
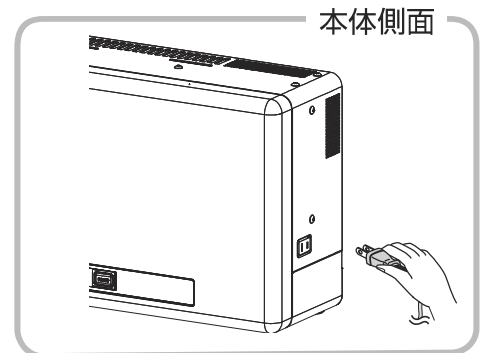
3 運転ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する



（1.24kW 分の負荷接続時のイラストです）

4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 表示部には、現在の発電電力が表示されます。
- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 4）
- 壁面に設置した停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 本体側面の停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）の合計消費電力は、下記指定の電力以下になるようにしてください。
 - －PVN-406 の場合：2000VA 以下（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
 - －PVN-553 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大 27.5A 以下）になるようにしてください。



連系運転と自立運転について（つづき）

自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。（⇒ 8）

- 表示部に「e0」が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。（⇒ 8）
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。（エラーコード E9、E13 で停止します）
保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
 - ① 運転スイッチを「オフ」にする（⇒ 8）
 - ② 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
 - ③ 運転スイッチを再度「オン」にする（⇒ 8）

復電時の操作（連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

使
い
方

1 運転スイッチを「オフ」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 表示部に「・」（ドット）が点灯します。

2 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする



3 運転スイッチを「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。

4 運転ランプ/連系ランプおよび発電電力表示ランプ[kW]が点灯することを確認する

- 現在の発電電力が表示されます。



（2.2kW 発電時のイラストです）

停電時の使いかた……………自立運転

- ▶お知らせ◀
- 停電時でも日射があればパワーコンディショナを操作して発電電力を得られます。
 - 朝夕や雲の状態による日射に応じて自動的に運転・停止します。
 - 停電が復旧したときは運転切換スイッチを「連系」に切り換えてください。
 - 夜間の停電は連系運転にしてそのまま復帰をお待ちください。
 - 自立運転では余った電気を電力会社へ売る（売電）ことはできません。
 - 自立運転機能を使用するには、別設置（必要な場合のみ）のコンセントにて使用できます。（別途工事が必要です。詳細はお買上げの販売会社にお問い合わせください）



警告

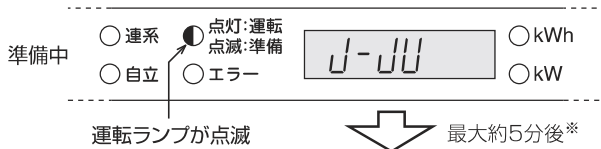


禁止

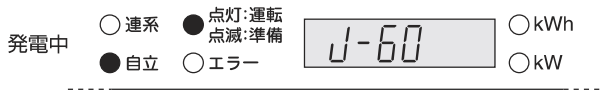
- 自立運転出力用コンセント（必要な場合に別設置）と商用電源を接続しない（感電・故障の原因になります）

1 本体底面のネジ(2か所)をコインなどを使ってゆるめてスイッチカバーを手前にずらしてはずし、運転切換スイッチを「自立」にします。

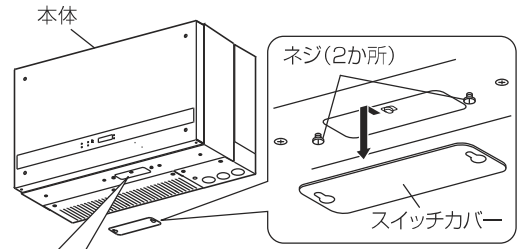
運転ランプが点滅します。



運転ランプ、自立ランプが点灯します。
表示が発電中の表示に変わります。（例：60Hzの場合）
自立運転中はブザーが"ピピッ"と10秒間隔で鳴りつづけます。



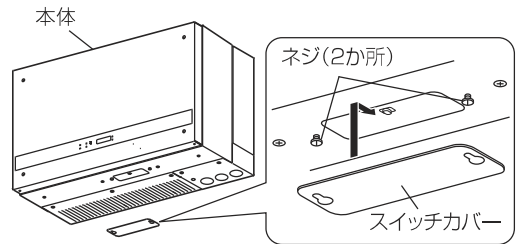
※条件により運転開始までに最大約5分間（約300秒）かかります。



※ボタンの色は視覚的に強調するため、実際に色は付いていません。

2 運転準備後、自立運転が開始されたことを確認し、本体底面にスイッチカバーをコインなどを使って元通り取り付けます。

- スイッチカバーが確実に取り付けられているか確認してください。



3 自立運転出力用コンセント（必要な場合に別設置）に家庭内の電気製品の電源プラグを差し込みます。

自立運転出力用コンセント（必要な場合に別設置）には 100V、コンセント 1か所につき最大 15A となります。

自立運転出力用コンセントの設置場所はお買上げの販売会社にお問い合わせください。

- 2か所同時に使用する場合、コンセント 2か所合計の最大出力電力はお使いになるパワーコンディショナの型式により異なります。

型式	PVS-452	PVS-554
合計最大出力電力	2.2kVA	2.7kVA



▶お知らせ◀

- 太陽電池容量と日射条件により使用できる電力が小さくなる場合があります、電気製品の消費電力によっては使用できないことがあります。
- 運転開始時の起動電流が大きい電気製品は使用できない場合があります。

4 自立運転で電気製品を使用した後は、電源プラグを自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)から抜きます。

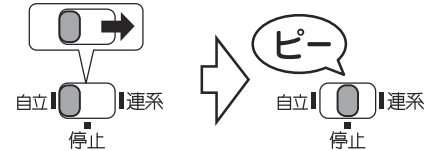
- 停電が復旧したときは運転切換スイッチを「連系」に切り換えてください。

▶お知らせ◀

自立運転では余った電気を電力会社へ売る(売電)ことはできません。

自立運転を停止する場合

1. 本体底面のネジ(2か所)をコインなどを使ってゆるめてスイッチカバーを手前にずらしてはらずし、運転切換スイッチを「停止」にします。
2. スwitchカバーをコインなどを使って元通り取り付けます。



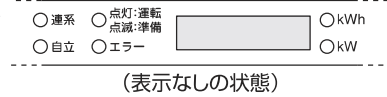
- ▶お知らせ◀ 停電復旧時には必ず「連系」に切り換えてください。
「停止」のままでは発電を取り込むことができません。

※ボタンの色は視覚的に強調するため、実際には色は付いていません。

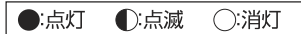
自立運転中の状態を表示とランプとブザー音でお知らせします

▶お知らせ◀

日射の少ないときや夜間のときは、パワーコンディショナの電源が切れるため、表示はすべて消灯します。



運転停止中の表示



運転切換スイッチが「停止」の状態です。(ドット表示)

自立運転中の表示

(自立運転中はブザーが"ピッピッ"と10秒間隔で鳴りつづけます)

① 発電中 (基本表示)



自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)が使用可能です。
(例:50 [Hz]の場合)

② 発電中以外の表示



「自立運転」準備中です。



一時的な日射の低下か日射の減少のため、日射が回復し安定するまで待機しています。日射が回復すれば自動的に自立運転を再開します。

▶お知らせ◀

上記以外の表示が出た場合は、「故障かな?と思ったら」P16、17をご確認ください。

連系運転と自立運転について

通常時の使い方（連系運転）

通常、パワーコンディショナは連系運転で使用します。連系運転中、パワーコンディショナは自動的に、太陽電池が発電しだすと起動し、発電なくなると停止します。

日常において、下記の操作（「連系運転を開始する」 / 「運転を停止する」）は不要です。

連系運転を開始する

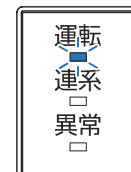
連系運転を開始していない場合は、下記にしたがって操作してください。

◆ 操作前の確認

パワーコンディショナの運転スイッチが「オフ」状態であることを確認してください。

- 運転スイッチの「オン」、「オフ」の状態は運転ランプで確認することができます（⇒ 9）。
- 「オン」状態になっている場合、運転スイッチを5秒以上押し続けてください。運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

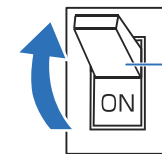
運転スイッチ「オフ」状態



運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返す

使い方

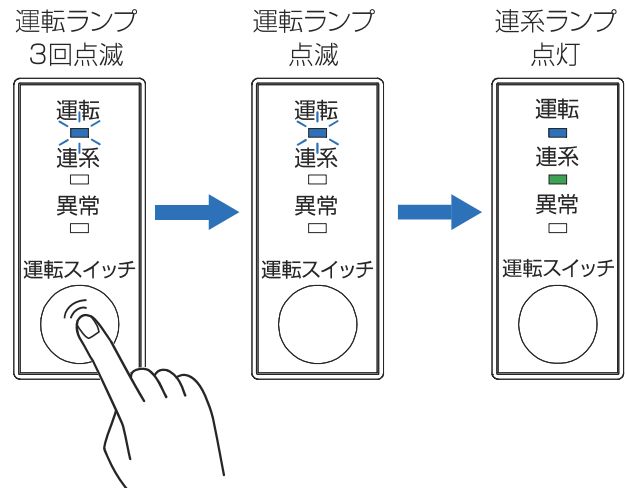
1 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする



太陽光発電用
ブレーカ

2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。
- 連系運転を開始すると、運転ランプと連系ランプが点灯します。



- 日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、パワーコンディショナは運転を停止し、停電が回復すると、自動的に連系運転を再開します。
- 停電の回復後、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、運転スイッチの状態を確認（⇒ 9）したあと、以下の手順を行ってください。

（運転スイッチが「オフ」状態の場合）

- 1 運転スイッチを5秒以上押し続ける
 - 運転ランプが3回点滅し、連系運転を開始します。

（運転スイッチが「オン」状態の場合）

- 1 運転スイッチを5秒以上押し続ける
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 2 運転スイッチを5秒以上押し続ける
 - 運転ランプが3回点滅し、連系運転を開始します。

連系運転と自立運転について（つづき）

運転を停止する

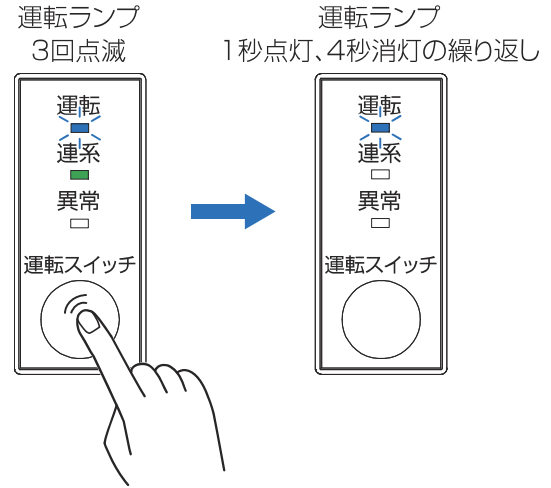
運転を停止する場合は、下記にしたがって操作してください。

1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- パワーコンディショナが運転を停止します。

2 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返していることを確認する

- 運転を停止すると、パワーコンディショナは停止状態を保つため、自動的に起動しません。



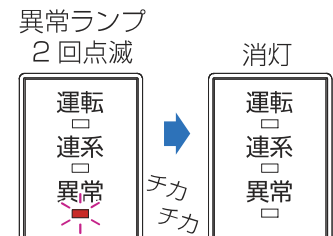
使
い
方

停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

停電時に、異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返している場合

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」になっています。
自立運転で使用する場合は、下記の手順1～3を行ってください。



停電時に、運転ランプが点灯している場合

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」になっています。

- 自動的に自立運転に切り替わっています。
- お客様での設定変更はできません。自立運転切り替え方法の設定を変更（手動⇔自動）する場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

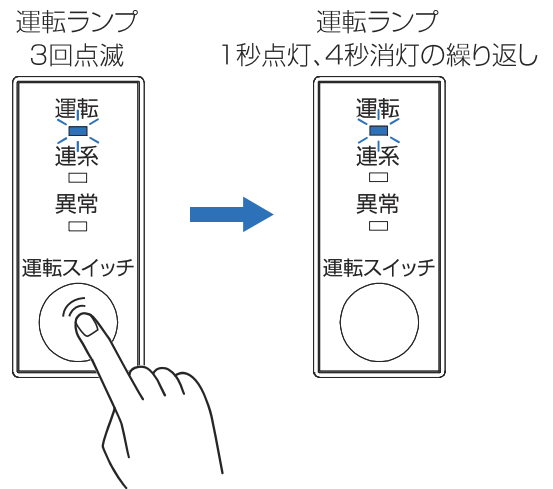


- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。
- 停電時に備えて、日頃から自立運転の動作確認を行ってください。（⇒ 14）

連系運転と自立運転について (つづき)

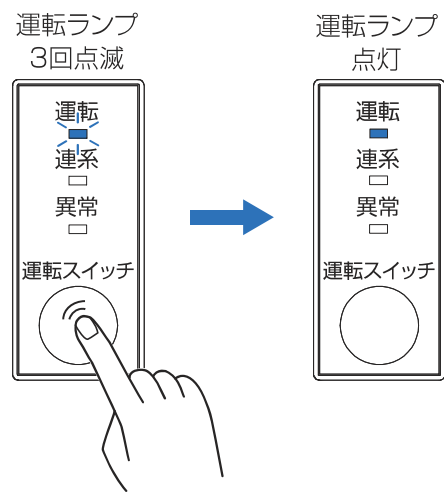
1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返します。



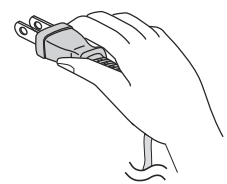
2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチツカチッカチツと動作音がします。
- 自立運転を開始すると、運転ランプが点灯します。



3 停電用コンセントに使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。(⇒ 4)
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA以下(AC100Vで最大15A以下)になるようにしてください。



- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを5秒以上押し続けて、運転スイッチを「オフ」状態にしてください。(⇒ 8) 再度、運転スイッチを5秒以上押し続けると、運転スイッチが「オン」状態になり、自立運転を再開します。

連系運転と自立運転について（つづき）

自立運転が停止したら

◆ 発電電力の低下や日の入りによって自立運転が停止した場合

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始してから、下記手順を行って自立運転を再開させてください。
(異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返していたら、太陽電池は発電を開始しています)

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

◆ 保護機能が働いて自立運転が停止した場合

掃除機や冷蔵庫などの電流が急激に流れる機器を使用したり、故障した機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 停電用コンセントに接続している機器を減らす、または故障した機器を停電用コンセントから外す
- ③ 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

復電時の操作（連系運転への切り替え）

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。下記の手順1～3を行ってください。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、最大5分程度で自動的に連系運転に切り替わります。下記の手順3のみ行ってください。

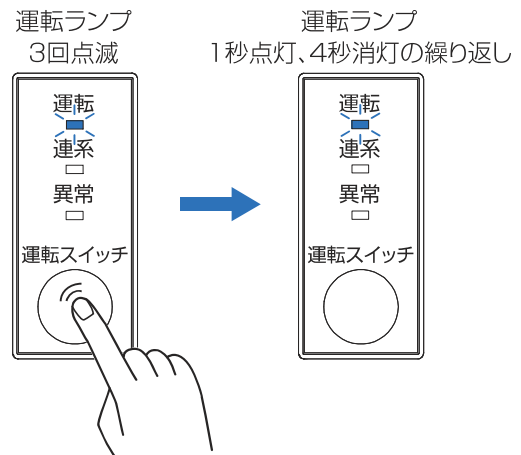
- 下記の手順3で運転ランプと連系ランプが点灯せず、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、下記手順①、②を行って連系運転を開始してください。

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 運転スイッチを5秒以上押し続ける (⇒ 8)
 - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

連系運転と自立運転について（つづき）

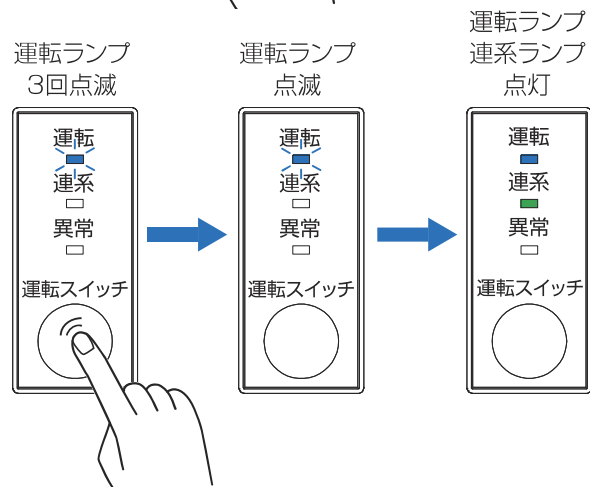
1 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返します。
- 自立運転が停止します。



2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



3 運転ランプと連系ランプが点灯し、連系運転が開始していることを確認する

使い方

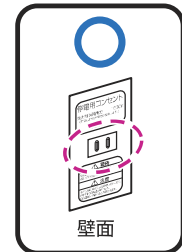
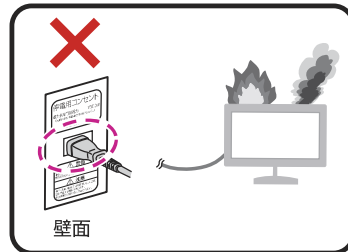


警告

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり



連系運転時には、停電用コンセントに電気機器を接続しない
発煙・発火・火災・感電・けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

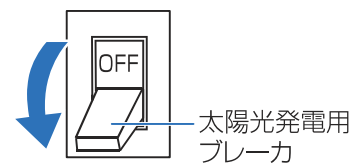


停電時に備えて

日頃から自立運転の動作確認を行ってください。（パワーコンディショナが連系運転している状態で行ってください）

太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オフ」にすると、停電と同じ状態になります。次の確認をしてください。

- 主幹漏電ブレーカは「オフ」にしないでください。



1 自立運転切り替え方法の設定が「手動」と「自動」のどちらに設定されているか確認する

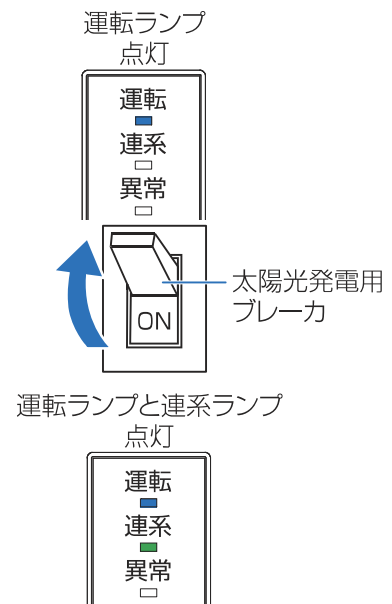
- 異常ランプが5秒間に、2回点滅を繰り返している場合、設定は「手動」です。運転ランプが点灯している場合、設定は「自動」です。

連系運転と自立運転について（つづき）

- 2 使用したい機器が使用できるか確認する（⇒ 下記）
- 自立運転切り替え方法の設定により確認方法が異なります。
 - 確認後は通常の連系運転に戻してください。

自立運転切り替え方法の設定が「手動」の場合の確認方法

- 1 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする
- 運転スイッチの操作は「各部の名前と働き」（⇒ 8）をお読みください。
 - 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。
 - パワーコンディショナが自立運転を開始します。
- 2 運転ランプが点灯することを確認する
- 3 運転スイッチを「オフ」にする
- 自立運転が停止します。
- 4 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする
- 5 運転スイッチを「オン」にする
- 投入遅延時間経過後、パワーコンディショナが連系運転を開始します。
- 6 運転ランプと連系ランプが点灯することを確認する



使い方

自立運転切り替え方法の設定が「自動」の場合の確認方法

- 1 運転ランプが点灯することを確認する
- 2 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする
- 投入遅延時間経過後、パワーコンディショナが連系運転を開始します。
- 3 運転ランプと連系ランプが点灯することを確認する

